

作品とは何か？

アートの本質を探索するうえで根源的な問いです。その定義は多岐にわたりますが、最も基本的な定義は作家の思想と技術が具現化されたものという定義でしょう。作品は作家の思考と技術を集約した創造物です。理解者が所有し鑑賞し続けることで、作家の生を超えて存在し続けます。

作品が生み出される過程には、作品の“素（もと）”である作家の“素（す）”となるものが現れます。そしてそれは作家の思考や技術として作品に投影され、作家の人生そのものが作品に込められます。そのような“素”を理解の手掛かりとして共有したうえで作品を鑑賞し所有できることは、同じ時間を生きた者だからこそ得られる大きな特権ではないでしょうか。

そこでKYOTOWANDでは、同時代を生きた作家たちの生と作品所有の喜び、新しいアート作品鑑賞への手掛かりを探索するアートプロジェクトとして、「素を知る -Know The Origin-」を開催します。本プロジェクトを通じて、作品を鑑賞するだけでなく作品が生まれる瞬間、作家たちの人生やストーリーに触れ、新たな視点を手に入れるきっかけにして頂けたら幸いです。

素を知る -Know The Origin-
Vol. 01

KYOTOWAND

〒605-0918 京都府京都市東山区北棟梁町311-1

<https://www.kyotowand.com/>

info@kyotowand.com

大黒 貴之展
CERES, FOLDED DRAWING and THE MAKING

ケレス、フォールド・ドローイング、メイキング

2023年4月28日(金)～5月14日(日)

大黒 貴之

EXHIBITION ANNOUNCEMENT

個展

「CERES, FOLDED DRAWING and THE MAKING」

2023年4月28日(金)～5月14日(日)

素を知る -Know The Origin- Vol. 01

DAIKOKU Takayuki : SOLO EXHIBITION

CERES, FOLDED DRAWING and THE MAKING

大黒貴之展「ケレス、フォールド・ドローイング、メイキング」

2023年4月28日(金)～5月14日(日)

公開制作 THE MAKING : 4月28日(金)～4月30日(日)

4月28日(金)・29日(土) 11:00～17:00

4月30日(日) 11:00～14:00

展覧会期 : 5月3日(水・祝)～5月14日(日)

5月3日(水・祝)～7日(日) 11:00～17:00

5月8日(月)～10日(水) 完全予約制

5月11日(木)～14日(日) 11:00～17:00

オープニングレセプション

5月2日(火) 18:00～21:00

アーティストトーク

5月3日(水・祝) 14:00～

聞き手 : 京谷 裕彰 (詩人・批評家)

KYOTO WAND

〒605-0918 京都府京都市東山区北棟梁町311-1
京阪本線 清水五条駅より徒歩5分
info@kyotowand.com

協力 : MARUEIDO JAPAN
〒107-0052 東京都港区赤坂2-23-1
アークヒルズフロントタワー 1F
http://marueidojapan.com/



CERES Säule/ケレス ツイレ (2022-01)

Folded Drawing with dots -cadmium yellow 2021-01

本展覧会では、ドイツに滞在していた2013年から制作を続けている「CERES/ケレス」と、ドイツからの帰国後、2017年より制作を開始した「Folded Drawing/フォールド・ドローイング」の両シリーズを、新旧の作品を交えて発表します。またFolded Drawing/フォールド・ドローイングを公開制作する「THE MAKING」と自身の作品や軌跡について対談するアーティストトークを実施します。この2つのイベントを通じて、作品と鑑賞者の間により深い対話を生み出す試みを行います。

KYOTOWANDの空間は、様々な想いや目的を持った人々が交差するピオトープのような場所です。アートプロジェクト「素を知る - Know The Origin -」が継続的に進行する時間の中で、新しい関係性や出来事が生まれることを期待しています。第1回目の本展が、次世代の鑑賞者とアーティストを繋ぐ最初の起点となれば幸いです。

2023年 春 大黒貴之

大黒貴之 DAIKOKU Takayuki

彫刻家。1976 年滋賀県生まれ。

大阪芸術大学大学院芸術制作研究科造形表現 II(彫刻)修了。

幼少期の自然風景の記憶、日本文化の曖昧性の考察、ドイツ滞在などを通じて、

自然の形と構造、自然的多様性、文化的多様性などを解釈し、異質なものが並存する間に発生する調和美を探索。

「行為」や「素材」を意識した彫刻的アプローチで作品を創生する。

ドイツに2度に渡って約6年半滞在、彫刻家として活動を行う。

ベルリンや東京を中心に展覧会多数。

主な展覧会に「A Part for the Whole」MARUEIDO JAPAN(東京、2020)、

「野外彫刻展:ランドアート・シュロスパーキ・ヴァーゲニッツ」ヴァーゲニッツ自然公園(ブランデンブルク州・ドイツ、2015)、

「renmen / 連綿 - 途切れることなく-」Semjon Contemporary (ベルリン、2013)など。

2017 年、「FACE 2018(損保ジャパン日本興亜美術賞)」入選。

コミッションワークの実績として、

ブランデンブルク州ハーフェルランド郡(ドイツ)、ダラスの私邸(米国)、KYOTOWAND(京都)などがある。

<https://k-daikoku.net>

この度、4月28日(金)～5月14日(日)まで、

大黒貴之展

「CERES, FOLDED DRAWING and THE MAKING/

ケレス、フォールド・ドローイング、メイキング」

を開催させていただく運びになりました。

素を知る -Know The Origin- Vol. 01

大黒貴之展

「CERES, FOLDED DRAWING and THE MAKING/

ケレス、フォールド・ドローイング、メイキング」

2023年4月28日(金)～5月14日(日)

公開制作 THE MAKING: 4月28日(金)～4月30日(日)

4月28日(金)・29日(土) 11:00～17:00

4月30日(日) 11:00～14:00

オープニングレセプション: 5月2日(火) 18:00～21:00

アーティストトーク: 5月3日(水・祝) 14:00～

聞き手: 京谷 裕彰 (詩人・批評家)

展覧会期: 5月3日(水・祝)～5月14日(日)

5月3日(水・祝)～7日(日) 11:00～17:00

5月8日(月)～10日(水) **完全予約制**

5月11日(木)～14日(日) 11:00～17:00

展覧会会場: KYOTOWAND

〒605-0918 京都府京都市東山区北棟梁町 311-1

京阪本線 清水五条駅より徒歩 5 分

協力: MARUEIDO JAPAN

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-23-1

アークヒルズフロントタワー 1F

- ・会期中は、5月8日(月)～10日(水)を除き、予約制ではなく自由にお越し頂けます。
- ・会期中はお食事の提供はなく、ドリンク類とカウンターフード類のみの提供となります。
- ・作品を手にとれる形で展示いたしますので、中学生未満のご入場はご遠慮頂いております。



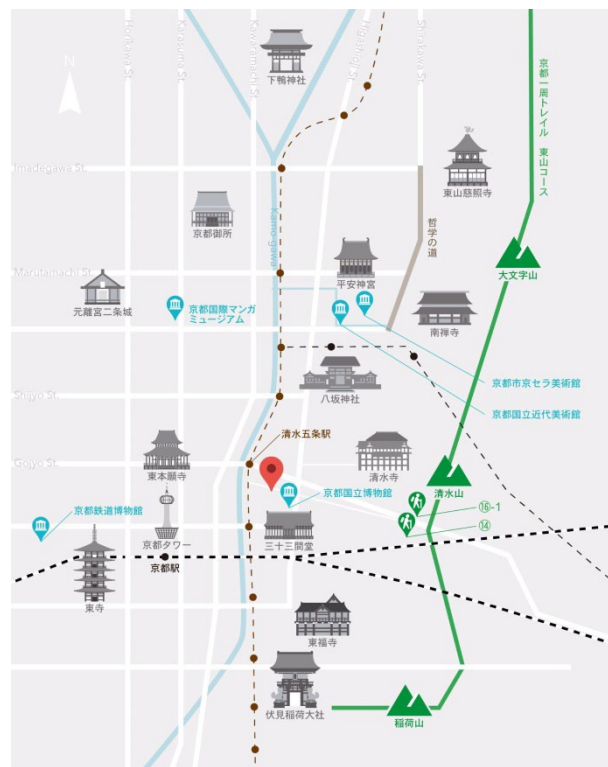
展覧会場: KYOTOWAND

〒605-0918 京都府京都市東山区北棟梁町 311-1

京阪本線 清水五条駅より徒歩 5 分

<https://www.kyotowand.com/>

info@kyotowand.com



当展覧会は KYOTOWAND が今後定期的に開催するアートプロジェクト

「素を知る -Know The Origin-」の第1回目となります。

KYOTOWAND アートプロジェクト

「素を知る -Know The Origin-」

作品とは何か？

アートの本質を探るうえで根源的な問いです。その定義は多岐にわたりますが、
最も基本的な定義は作家の思想と技術が具現化されたものという定義でしょう。

作品は作家の思考と技術を集約した創造物です。

理解者が所有し鑑賞し続けることで、作家の生を超えて存在し続けます。

作品が生み出される過程には、作品の“素(もと)”である作家の“素(す)”となるものが現れます。
そしてそれは作家の思考や技術として作品に投影され、作家の人生そのものが作品に込められます。

そのような“素”を理解の手掛かりとして共有したうえで作品を鑑賞し所有できることは、
同じ時間を生きた者だからこそ得られる大きな特権ではないでしょうか。

そこで KYOTOWAND では、同時代を生きる作家たちの生と作品所有の喜び、

新しいアート作品鑑賞への手掛かりを探るアートプロジェクトとして、

「素を知る -Know The Origin-」を開催します。

本プロジェクトを通じて、作品を鑑賞するだけでなく作品が生まれる瞬間、

作家たちの人生やストーリーに触れ、

新たな視点を手に入れるきっかけにして頂けたら幸いです。

KYOTOWAND はオールインクルーシブサービスの日帰り滞在型ラウンジスペースです。

河川の本流とは別に川岸に形成された湾状の地形を“湾処(ワンド)”と呼び、

繋がりを保ちつつも緩やかなその流れは多様な植生を育み、豊かなビオトープを形成する場です。

ここに集う皆様にとって『ここへ』と『ここから』の間にある少し緩やかで自由な“京都湾処”となります様に。

KYOTOWAND には、そんな願いが込められています。

多様な環境の繋がりのひとつとして、アートに焦点を当てた企画になります。

ギャラリーに設置された作品のみでの鑑賞とは違った視線が持てる場として、

公開制作、オープニングレセプション、アーティストトーク、展覧会という流れで、

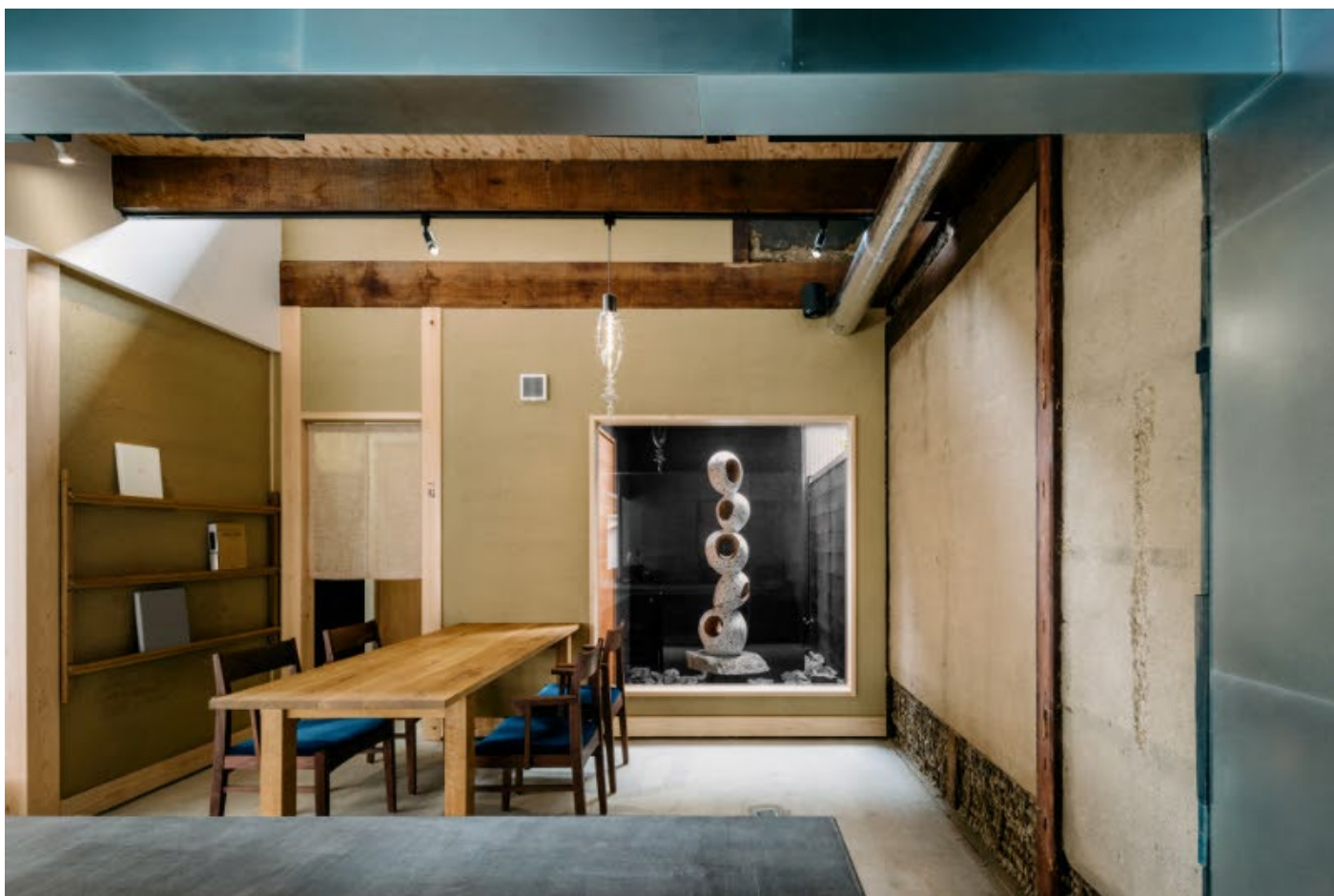
完成した作品以前の工程や作家の人間性にも触れる機会を設けました。

4月28日～30日の公開制作「THE MAKING」、

5月3日のアーティストトークで詩人であり批評家である京谷 裕彰氏との対談を通して、

作品と鑑賞者の間により深い対話を生み出す機会になればと考えております。

留まったり回遊したり、思い思いに京都を楽しむための湾処として、新たな試みにて皆様をお待ちしております。



KYOTOWAND 店内の様子 写真:増田好朗



CERES Säule/ケレス ゾイレ (2022-01), 2022,

H168.5 × W66.5 × D51.5cm,

楠・漆喰・アクリル絵の具・御影石

写真: DAIKOKU Takayuki



Folded Drawing dots (cadmium yellow 2021-01) with Frame,

紙に鉛筆とアクリル絵具・木製パネル・MDF 板・楓材,

2021 (frame 2022), 35.7 × 44 × 4 cm (with Frame),

写真: DAIKOKU Takayuki